

伊勢崎市徘徊高齢者等保護対策訓練概要

第1訓練

- ・「徘徊高齢者等位置情報サービス」利用者が所在不明となった事例を想定した訓練
- ・訓練内容は、包括支援センターがGPSにより位置情報の検索及び警察への情報提供を行い、警察が捜索及び保護まで行うもの。
- ・参加協力団体は、市と警察とセコム株式会社（徘徊高齢者位置情報サービス委託事業者）
- ・訓練の想定は、高齢者世帯の認知症の夫が自宅から所在不明となり、GPS端末を装着していたことから、警察への位置情報提供により迅速に発見保護にいたるもの。
- ・訓練手順は、不明者役が南千木町会議所（自宅と仮定）から歩き始め、羽黒運動場駐車場で保護されるまでに、包括が2回の位置情報検索と警察への情報提供を行う。
2回目の位置情報提供でパトロール中の警察により羽黒運動場駐車場で保護されるもの。

第2訓練

- ・事業開始を予定している「徘徊高齢者等事前登録制度」利用者が所在不明となった事例を想定した訓練。
- ・訓練内容は、いせさき情報メールに登録した認知症サポーター、ボランティア、民生委員等が事前登録と当日の服装などの情報を受信し、不明者役を発見した際の声かけや通報を行うもの。また、居宅介護支援事業所へのファックス配信により介護支援専門員が通常の訪問業務の中で可能な捜索の協力を行うもの。
- ・参加協力団体は、市と警察と地域住民と介護支援専門員。
地域住民として訓練に参加していただくのは、南及び茂呂地区の認知症サポーター、ボランティア協会南支部及び茂呂支部会員、南及び茂呂地区民生委員、市内で市と契約している居宅介護支援事業83箇所です。
- ・訓練の想定は、南地区と茂呂地区の高齢者世帯の妻2人が買い物に出かけたまま行方不明となり、いせさき情報メールに登録した地域住民の協力により発見、通報が行われ、警察が保護するもの。
- ・訓練手順は、不明者役2人が南地区と茂呂地区の各ルートを歩行中、認知症サポーター、ボランティア団体、民生委員の3グループが各徘徊ルートの途中で発見、誘導、通報等の体験をしていただくもの。
南地区徘徊ルートは、不明者役がふくしプラザを出発し、市役所議会棟南側駐車場で警察により保護されるもの。
茂呂地区徘徊ルートは、不明者役が北千木町会議所を出発し、市役所議会棟南側駐車場で警察により保護されるもの。
2通りの徘徊ルートは、それぞれ3箇所、訓練参加団体と遭遇する地点を設け、不明者への対応訓練を体験していただく。